

# ふるさとの味をお届け【高齢者の雇用機会創出】

## 目 概要

都会に住む若者と、同郷出身の主婦（夫）とのマッチングサービス。  
慣れない都会で一人暮らしをしている若い層に向けて、ふるさとの味を届ける。

## 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

高齢者が就ける仕事に限られている昨今。  
特殊な能力や資格がないと、なかなか仕事にありつけない。  
そういった高齢者の雇用機会を増やすことが第一の目的。  
第二の目的は、田舎から都会に出てきてなかなか家庭の料理を食べられない層に、故郷の味を届けること。

## 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

高齢者側：ご飯を作って届ける  
ユーザー：ご飯を注文する

仕事をしたい高齢者に雇用機会を、故郷の味を欲するユーザー側には注文するとご飯が届くという一石二鳥のサービス。

## 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

UberEats、出前館  
ヤマト運輸

## 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

飲食店ではなく、各個人をつなぐこと。お店の味ではない母の味を食べることができること。

## 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

- ① SNSやビラ配りでマッチングのサービスを宣伝し認知拡大を目指す
- ② 食事を提供したいユーザー（高齢者）が登録する
- ③ 食べたいものをユーザー（食べる側）が登録する
- ④ マッチング（受け渡しの時間、場所を選択）
- ⑤ マッチングしたらメッセージまたは電話で双方に連絡
- ⑥ 提供（提供方法は、個人情報保護の観点から基本近所のスーパーやコンビニ受け取りとする）

※定期的に同郷出身会を開催。  
いつもお届けしていた味をイベント会場でふるまう。  
またイベントを通じて、老若男女問わず同郷の友達を作ることも可能。  
イベント開催時には地元でしか買えないパンや牛乳などなども取り揃えておく。



## 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

- ・受け取りをスーパーやコンビニにすることで、個人情報を守る
- ・高齢者がスマホを使えない場合は電話で登録など対応する
- ・SNSを見ない高齢者も多いため、ビラ配り等アナログな方法で求人



## 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

- ①アプリ開発：1か月
  - ②求人募集：高齢者ユーザーにチラシやSNSで求人をかける（1か月）
  - ③作れるものと運べる範囲のリストを作成（募集が来次第）
  - ④ユーザー募集：アプリで食べたいものを登録してもらう（随時）
  - ⑤マッチング
- 初期費用：150万円（アプリ開発費+人件費）  
運用費：50万円（仮）

※ニーズや将来性を確かめるため、まずは既存サービスの『ジモティ』などを活用することも検討



## 未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

高齢者ユーザーは仕事ができ、かつ生きがいを持つことができる。

使用するユーザーは母の味を1人暮らしでも楽しめるため、ホームシックや栄養失調にならずに、仕事に取り組むことができる。